

令和7年度 第6回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和7年9月9日（火）午後6時30分～

会場：レインボーセンター 3階 第三会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的な審議】

- ・今後の協議会の進め方について
- ・意見交換を踏まえた今後の活動について

4 そ の 他

- ・次回地域協議会（案）

令和7年10月14日（火）午後6時30分～ レインボーセンター

5 閉 会

○第4回協議会の振り返りで出された意見

分類	意見	対応（案）
グループに分けての議論	・全体で話しても決まった人しか話ができない。各々想いのある分野があると思うので、想いのある人でグループとなり話をした方がよい。【土肥委員】 ・小グループの方が話しやすく、意見が良く出る。【田中（由）委員】 ・今までの進みを見ていると3年で4つあるテーマをできるか疑問である。グループに分けて同時に進めるのがよいのではないかと。【小玉委員】 ・委員によって熱量のあるテーマが異なる。熱量のあるテーマごとに分かれて議論した方がよいのではないかと。【小玉委員】 ・得意な分野で議論していきたい。【青山委員】 ・グループでの話し合いは若い人が気軽に発言できるので良いと思った。【田中副会長】 ・小グループの方が話しやすいが、分科会のようにそれぞれのグループが別々のテーマの議論を行うと、そのグループしか深い議論ができないことから、各グループで同じテーマの議論を行う方が議論が深まるのではないかと。【磯田会長】	小グループに分かれて各グループ同じテーマについて議論する。 グループで話し合った結果を全体会で共有、議論したのち方針等を決定する。
テーマの進捗	・1つのテーマが進んで結論が出るかと思ったら、別のテーマの話に変わって進まない。各項目1つ1つ完結させてほしい。進まないものは凍結や別の切り口にするなど考えを変えていったほうがよい。【保坂委員】 ・前期から同じテーマをやっていて結果が出ていない。ほかにやり方があるのではないかと。【稲川委員】 ・何をするか決めただけで進んでいない。【小玉委員】 ・1年やってきたが何も変わらない。市民のかけはしになっているかも分からない。【土肥委員】 ・地域協議会の議論の進みが遅い。月1回では前回の話を忘れてしまう。【増田委員】 ・町内会長協議会、住民と距離を縮めた方がよい。そのために住民との意見交換を進めるべき。【増田委員】	協議会として意見をまとめて一定の結論が出たもの（各団体や市の取組を聞き取り、納得できたものも含む）は審議を終了する。

分類	意見	対応（案）
地域協議会の役割や協議内容等が分からない	・地域協議会の役割を理解するのが難しく、何をしたらいいのか分からない。協議会とは何かを簡単な言葉で理解できたらよい。【田中副会長】 ・毎回、内容を理解するのに精いっぱい。【田中（由）委員】 ・何が分からないか分からない。【小玉委員】	各テーマについてロードマップを作成する。
地域協議会が関わることについて	・市民団体が各専門分野で活動されている中で、地域協議会が入って何をするのか分からない。【関澤委員】	関係する団体と意見交換を行い、団体の意向も踏まえた協議会としての活動を検討する。

<個別のテーマについて>

テーマ	意見
福島城に関する事	・福島城に関することや三八朝市については、前期から議論されており、結論が出ないまま今期に引き継がれているが、福島城はあの場所ではもう難しいし、三八朝市はこのままではなくなる勢い。【今川委員】
五智公園に関する事	・五智公園を育てる会の顧問をしているが、都市整備課、環境保全課、町内会と毎年懇談会をしている。市の対応が薄いということはないと思う。【関澤委員】 ・五智公園の注目度は確かに低い、地域協議会が入って何かできるのか疑問。【関澤委員】 ・五智公園を育てる会はお金と人が欲しいが、それは地域協議会ではどうしようもできない。【関澤委員】
三八朝市に関する事	・福島城に関することや三八朝市については、前期から議論されており、結論が出ないまま今期に引き継がれているが、福島城はあの場所ではもう難しいし、三八朝市はこのままではなくなる勢い。【今川委員】
防災に関する事	・防災に関しては各町内会が設備投資などして対応している。地域協議会が関わるのは余計なお世話だと思う。【関澤委員】 ・防災士会、地域協議会、町内会長協議会で地域独自の予算事業を使って地域防災力を上げる講演会などをするやるべき。【増田委員】 ・町内会が活動している中で、地域協議会がなぜ講演会を行うのか分からない。【田中（実）委員】

項目	意見交換で出された主な意見	協議会の方針（案）	具体的な活動（案）
福島城に関するこ と	・地域活動支援事業で作成した<u>ジオラマをもっと有効に見てもらえる場所があれば移設してもらって構わない</u>。【福島城：柳澤副会長】 ・旧古城小学校の生徒たちが主体的に作成した資料も多い。<u>地域の宝として残してほしい</u>。【福島城：相澤事務局長】 ・会員の高齢化やコロナ渦による活動の停滞、古城小学校の閉校が重なり、現在は名前だけの会となっており、会費ももらっていない。【福島城：相澤事務局長】 ・教育委員会と協議する場や、資料のいかし方の検討など、<u>今後の道筋について協議会が一緒に考えてもよいか</u>。【協議会：磯田会長】 →ぜひお願いしたい。【福島城：柳澤副会長】	資料が人目に触れやすい状態にする方法を地域協議会主体で検討し、福島城を愛する会とともに実行する。	①人目に触れやすい方法を検討する。 ②①で検討した内容の実施にあたり関係する団体等と、福島城を愛する会と当協議会で協議を行う。 ③②で合意が図られた内容の実行に向けた具体的方法を検討し、実行する。

項目	意見交換の整理	協議会の方針（案）	具体的な活動（案）
防災に関すること	○市危機管理課との意見交換 ・令和6年能登半島地震津波災害対応の検証の報告 …検証を踏まえた取組内容は資料 No. 3 のとおり ○上越市防災士会直江津支部との意見交換 …支部の活動内容は資料 No. 3 のとおり 【主な意見】 ・大きな費用の掛かる事業はなく、今後予定もないため、町内会からの支援で資金的には困っていない。【直江津支部：木島副会長】 ・貴会と協議会が連携してハザードマップの説明会や拡大版マップを作成するなどを行う考えはないか【協議会：増田委員】 →市の防災リーダー研修で当支部から町内会長や自主防災組織の役員にハザードマップの説明方法を伝えている。<u>各町内で説明が難しければ防災士を派遣する</u>とも伝えているので、<u>ぜひ活用してもらいたい</u>。【直江津支部：関谷副会長】 ・要支援者から避難訓練に参加してもらうことに苦勞している。【協議会：保坂委員】 →町内会から強く参加を求めても反発を受けてしまう。各組や隣近所などの近しい人の助け合いをベースとしていくのが良いのではないかと。避難行動計画の策定等についてアドバイスできるところはあるかと思うので、<u>防災士をうまく活用していただければと思う</u>。【直江津支部：木島副会長】	区内の町内会に防災士の活用を促すことで、地域防災力の底上げを図る。	①地域防災力の底上げに向けて各町内会に防災士の活用を促すことについて、直江津区内の町内会長協議会（直江津地区・五智地区）の考えを伺う。 ②具体的な防災士活用促進方法を検討し、町内会長協議会、防災士会直江津支部とともに実施する。

市及び上越市防災士会直江津支部の取組内容

資料No. 3

令和6年能登半島地震津波災害対応の検証を踏まえた市の主な取組 (「令和6年能登半島地震 津波災害対策の検証」より)		上越市防災士会直江津支部の取組	
情報発信	・ 自宅付近の災害リスクや災害時における正しい避難方法の周知啓発 ・ 情報内容・対象者の明確化 ・ 適時な発信 ・ 情報発信ツールの強化、アプリ開発 ・ 民間事業者との協力関係	町内会（自主防災組織）の防災訓練等への協力・支援	町内会（自主防災組織）が実施する防災訓練等への協力・支援、研修会への講師派遣等を行う。
住民避難	・ 町内会（自主防）の活動支援 防災士の養成 防災アドバイザー派遣 防災リーダー研修（町内会長や防災士） 防災講演会、防災講話 ・ 避難方法の検討 総合防災訓練、ワークショップなど ・ 避難所開設・運営の円滑化 初動対応職員、町内会、施設管理者、町内会の協力体制 避難所開設・運営訓練 ・ 避難所対応マニュアルの見直し 鍵管理手法の見直し	町内会に向けた指定避難所の設営・運営訓練	町内会（自主防災組織）を対象に「避難所クロスロードゲーム」「避難所HUG」「避難所DIG」等を用いて避難所の設営・運営訓練を行う。
		防災リーダー研修への協力・参加	市が開催（対象者：自主防災組織、防災士等）するハザードマップの活用方法や避難行動要支援者の避難方法の習得に向けた研修に協力・参加する。
「自助」の取組強化	・ 「津波ハザードマップ」の有効活用促進 災害を「知る」、対応を「学ぶ」、災害に「備える」	会員（防災士）の研修	会員のスキルアップに向けた研修会を行う。